



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社 シンニッタン
 コード番号 6319 URL <http://snt.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 諭
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 小林 謙治
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 044-200-7812

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	5,064	23.0	374	3.5	453	4.8	286	4.4
29年3月期第1四半期	4,118	17.1	361	8.0	433	16.4	274	9.9

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 647百万円 (%) 29年3月期第1四半期 95百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	11.65	
29年3月期第1四半期	10.70	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	38,470	29,535	76.4
29年3月期	37,796	29,236	77.0

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 29,387百万円 29年3月期 29,088百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		14.00	14.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 30年3月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定となっております。配当予想の開示が可能になった時点で速やかに開示いたします。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,100	28.5	800	5.4	900	8.9	500	7.4	20.35
通期	20,400	18.4	1,700	8.6	1,850	0.9	1,200	12.3	48.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	27,500,000 株	29年3月期	27,500,000 株
30年3月期1Q	2,935,471 株	29年3月期	2,935,411 株
30年3月期1Q	24,564,574 株	29年3月期1Q	25,608,940 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（以下「当第1四半期」という。）におけるわが国経済は、雇用環境他の改善等により、個人消費ならびに企業の設備投資も緩やかに持ち直しの動きがみられ、総じて緩やかな回復基調が続きました。一方、わが国をとりまく世界経済は、米国や欧州の一部の地域では引続き緩やかな回復基調が続き、中国ならびアジア地域においても景気の持ち直しの動きが見られましたが、米国新政権の政策動向に対する懸念や地政学的リスクの高まり等、先行きの不透明な状況が続きました。

このような状況下、当社とその連結企業（以下「当社グループ」という。）の当第1四半期の売上高は、本年1月に当社グループ入りした株式会社セイタン（以下セイタン）の業績寄与もあり、前期比9億45百万円増加の50億64百万円となりました。利益面は、売上高の増加がありましたが、建機事業ならびに物流事業での売上減少の影響を受け、営業利益は前年同四半期比12百万円増加の3億74百万円、経常利益は、前年同四半期比20百万円増加の4億53百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比11百万円増加の2億86百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

当社グループの主要事業である鍛造事業は、既存の各社においては、鍛造品の主要マーケットである国内自動車産業の海外生産拡大による現地調達化の基調は続いており、国内自動車産業向けの鍛造品は引続き伸び悩んでおります。また、当社主力の大型部品の引き合いは依然として強くない状況が続きました。一方、海外子会社の市場であるタイ国の自動車産業においては、景気の停滞感があるものの、底打ち感も見られ、当社鍛造品はほぼ横這いで推移しました。また、建設機械産業においては、中国市場・ロシアにおける建設機械需要の回復ならびに資源価格の持ち直しによる鉱山機械関連の回復が一部で見られ、関連する鍛造部品は増加いたしました。なお、新たにグループ入りしたセイタンの業績については、鍛造セグメント業績に寄与いたしました。

以上から、売上高は前年同四半期比10億69百万円増加の42億79百万円、営業利益は前年同四半期比56百万円増加の3億62百万円となりました。

仮設機材の販売・リースを行う建機事業は、首都圏での再開発事業や社会インフラの改修整備等から、仮設機材の需要は引続きあるものの、機材保有量の高止まりや建設関連職人の人手不足問題ならびに人件費の高騰による建設工事の一部見直し等で着工が減速し、関連する仮設機材の販売・リースは減少しました。売上高は前年同四半期比1億2百万円減少の5億45百万円、営業利益は前年同四半期比30百万円減少の89百万円となりました。

金属製パレットの製造販売を中心とした物流事業は、主要顧客である自動車会社において、引続き海外生産の進行等の影響を受け、低位で推移しました。売上高は前年同四半期比28百万円減少の1億95百万円、営業損失8百万円となりました。

不動産事業の売上高は、主要ビルの改修工事完了による新たなテナントの入居もあり、前年同四半期に比べ6百万円増加の44百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1億17百万円増加し、186億71百万円となりました。これは、配当金等の支払で現金及び預金が2億35百万円減少しましたが、売上増加に伴い受取手形及び売掛金ならびに棚卸資産が2億64百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ5億55百万円増加し、197億98百万円となりました。これは、鍛造事業の高萩工場の建屋改修工事等で有形固定資産が70百万円増加したことと、株価上昇により投資有価証券が4億83百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ6億73百万円増加し、384億70百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ2億84百万円増加し、69億51百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が1億17百万円減少し、一方、電子記録債務が1億67百万円、固定資産購入支払手形が2億3百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ90百万円増加し、19億82百万円となりました。これは、株式時価上昇による投資有価証券の増加に伴い繰延税金負債が1億48百万円増加したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億99百万円増加し、295億35百万円となりました。これは、配当金支払で剰余金が減少しましたが、投資有価証券の増加によりその他有価証券評価差額金が3億35百万円増加したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より2億35百万円減少し、93億30百万円となりました。

各活動のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、税金等調整前四半期純利益4億53百万円計上ならびに減価償却を3億6百万円実施しましたが、売上債権と支払債務のズレならびにたな卸資産の増加もあり、1億95百万円の増加に止まりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、有形固定資産の取得等により、1億74百万円の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、配当金の支払い等により、2億64百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当年度の連結業績予想については、平成29年5月15日に公表した業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,566,116	9,330,977
受取手形及び売掛金	3,667,332	3,809,650
電子記録債権	913,077	921,520
製品	1,565,003	1,646,420
半製品	93,452	101,795
仕掛品	1,017,438	1,149,147
原材料及び貯蔵品	906,368	807,153
その他	824,871	904,906
貸倒引当金	△376	△382
流動資産合計	18,553,284	18,671,190
固定資産		
有形固定資産		
土地	6,094,335	6,095,050
その他(純額)	7,082,277	7,152,448
有形固定資産合計	13,176,613	13,247,498
無形固定資産		
	44,074	46,413
投資その他の資産		
投資有価証券	5,601,459	6,084,880
その他	433,315	432,180
貸倒引当金	△12,080	△12,080
投資その他の資産合計	6,022,695	6,504,981
固定資産合計	19,243,382	19,798,893
資産合計	37,796,667	38,470,084

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,736,037	3,618,251
電子記録債務	652,982	820,194
短期借入金	1,187,500	1,270,500
未払法人税等	331,774	234,204
賞与引当金	169,487	205,294
その他	589,763	803,356
流動負債合計	6,667,545	6,951,801
固定負債		
役員退職慰労引当金	109,923	112,810
環境対策引当金	198,230	198,230
退職給付に係る負債	701,039	640,243
その他	883,715	1,031,683
固定負債合計	1,892,908	1,982,968
負債合計	8,560,454	8,934,769
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,256,723	7,256,723
資本剰余金	6,647,746	6,647,746
利益剰余金	14,984,245	14,926,404
自己株式	△1,797,740	△1,797,783
株主資本合計	27,090,974	27,033,090
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,144,735	2,480,609
為替換算調整勘定	△147,435	△126,577
その他の包括利益累計額合計	1,997,300	2,354,032
非支配株主持分	147,937	148,192
純資産合計	29,236,212	29,535,315
負債純資産合計	37,796,667	38,470,084

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	4,118,737	5,064,311
売上原価	3,471,860	4,306,871
売上総利益	646,877	757,439
販売費及び一般管理費		
従業員給料	71,450	98,269
運賃	53,899	85,460
その他	159,762	199,172
販売費及び一般管理費合計	285,112	382,902
営業利益	361,764	374,537
営業外収益		
受取利息	5,871	4,940
受取配当金	48,131	63,323
その他	25,430	24,112
営業外収益合計	79,433	92,377
営業外費用		
支払利息	1,950	2,372
金型廃棄損	2,781	9,469
その他	3,414	1,268
営業外費用合計	8,145	13,109
経常利益	433,052	453,804
税金等調整前四半期純利益	433,052	453,804
法人税、住民税及び事業税	160,793	184,916
法人税等調整額	△6,106	△20,941
法人税等合計	154,687	163,975
四半期純利益	278,364	289,829
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	274,125	286,063
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,239	3,766

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48,138	335,874
為替換算調整勘定	△326,065	21,313
その他の包括利益合計	△374,203	357,187
四半期包括利益	△95,838	647,016
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△93,618	642,795
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,220	4,221

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	433,052	453,804
減価償却費	268,136	306,164
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	21	5
受取利息及び受取配当金	△54,002	△68,264
支払利息	1,950	2,372
賞与引当金の増減額 (△は減少)	82,935	35,807
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△9,915	△60,796
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,183	2,887
売上債権の増減額 (△は増加)	△443,022	△148,050
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△150
有形固定資産処分損益 (△は益)	—	14
たな卸資産の増減額 (△は増加)	370,009	△119,241
仕入債務の増減額 (△は減少)	△131,371	46,350
その他	54,656	△85,613
小計	575,631	365,289
利息及び配当金の受取額	54,064	68,257
利息の支払額	△1,950	△2,372
法人税等の支払額	△36,336	△235,619
営業活動によるキャッシュ・フロー	591,409	195,554
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,379,754	△171,974
有形固定資産の売却による収入	—	150
無形固定資産の取得による支出	—	△2,339
投資有価証券の取得による支出	△25,149	△148
その他	6,000	90
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,398,903	△174,222
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	87,000
長期借入金の返済による支出	△4,200	△4,000
配当金の支払額	△363,247	△343,904
非支配株主への配当金の支払額	△3,798	△3,966
自己株式の取得による支出	△365,378	△42
財務活動によるキャッシュ・フロー	△836,624	△264,913
現金及び現金同等物に係る換算差額	△111,738	8,442
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,755,856	△235,138
現金及び現金同等物の期首残高	10,404,162	9,566,116
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,648,305	9,330,977

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

法人税等の処理は、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	鍛造事業	建機事業	物流事業	不動産事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	3,210,237	647,284	223,347	37,868	4,118,737
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,210,237	647,284	223,347	37,868	4,118,737
セグメント利益	305,492	120,183	15,484	17,566	458,726

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	458,726
全社費用(注)	△ 96,961
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	361,764

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	鍛造事業	建機事業	物流事業	不動産事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	4,279,810	545,002	195,241	44,256	5,064,311
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,279,810	545,002	195,241	44,256	5,064,311
セグメント利益又は損失(△)	362,195	89,659	△ 8,765	24,754	467,844

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	467,844
全社費用(注)	△ 93,307
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	374,537

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。